

県が在宅看護マニュアル 重症心身障害児ケアの要点まとめる

県は、重症心身障害児の在宅看護マニュアルを策定した。言葉でコミュニケーションができない重い障害のある子供たちの発するサインをどう読み取るかなど、在宅看護のポイントを県として初めてまとめた。現在開講している人材育成研修のテキストに活用するほか医療拠点などに配り、在宅看護の担い手育成に役立てる。

重症心身障害児は体と心に重い障害があり、寝たきりなどの生活をしている子供を指す。県の2010年の調査によると、在宅の障害児者は県内に少なくとも580人以上いると推計されている。

県は重症心身障害児者をケアできる医療スタッフの育成を進めており、マニュアル作成はその一環。専門知識を持つ県内の看護師ら9人が執筆し、冊子

にまとめられた。

重症の障害者をケアする上で課題の一つになるのがコミュニケーション。話せない障害者の状態を理解するために、マニュアルでは体温や脈拍、顔色や目の動きの変化などのサインを読み取ることの重要性を強調。そのために、日ごろからの注意と観察が必要としている。

県地域医療推進課は「重症心身障害児者が在宅で過ごす流れは強まっている。マニュアルで在宅看護の担い手を増やしたい」と話している。

マニュアルは県のホームページで内容が掲載されるが、希望者には郵送する。問い合わせは同課障がい児者医療推進室、電話 058 (272) 8279。

(岐阜新聞・岐阜 2014年8月27日)

お知らせ

第4回日本リハビリテーション栄養研究会学術集会 in 名古屋

日程：2014年12月13日（土）

会場：ウインクあいち（☎450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

テーマ：リハビリテーション栄養と食支援—多職種で地域へ

当番世話人：坂元隆一（静岡市立清水病院）

ホームページ：http://rehabnutrition2014.jimdo.com/

*日本リハビリテーション栄養研究会の会員でない方も参加可能です。

問い合わせ先：第4回日本リハビリテーション栄養研究会学術集会運営事務局

E-mail：rehaeiyou2014nagoya@gmail.com

お知らせ

第4回日本がんリハビリテーション研究会

会期：2015年1月10日（土）10:00～17:00
（受付9:30～）

会場：慶應義塾大学北里講堂第2校舎（東京都新宿区信濃町35）

主催：日本がんリハビリテーション研究会

プログラム：基調講演「がんサバイバーシップとリハビリテーション（仮）」司会：辻哲也先生（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室准教授）、講師：山内英子先生（聖路加国際病院乳腺外科部長）/シンポジウム「在宅でのがんリハビリテーション（仮）」/ライブ・カンファレンス

「骨転移例に対するリハビリテーション（仮）」/
一般演題30題予定

演題締切：2015年11月30日

参加費：3,000円

問い合わせ先：

第4回日本がんリハビリテーション研究会事務局
☎350-0496 埼玉県入間郡毛呂山町川角981
埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科内
E-mail：cancerreha4@yahoo.co.jp
http://4thcancerrehakenkyuu.jimdo.com